

## 11. キャリアサポートセンター

### 1) 平成20年度の就職環境考察

当年度の就職環境は前期と後期では様変わりの大きな変化に直面した。

前期は前年度から引き続き景気回復基調を受けた企業の採用意欲により4月～6月にかけて内定を確保したが、後期に入り世界的な金融不安や景気後退が急速に進み、国内企業の採用もこれらの影響を直接受けることになり採用が激減した。

前年度までは秋採用という表現で採用マーケットが開かれていたが当年度は急激な採用絞込みや内定取り消しが発生するなど社会問題化した年でもある。特に不動産業界やIT業界の経営悪化が顕著であり、当大学においても5名の内定取り消しによって年末から個別の再就職活動支援に追われることとなった。

当センターの事業では当年度事業計画を踏まえて、新たに「女子学生セミナー」「留学生ガイダンス」「地域企業との連携による面接指導」を取り入れることにより学生支援の充実を図ることが出来た。今後の課題としては初年次からの就業意識を醸成する支援事業や就職活動を迎える学生への個別支援強化を図ることである。その為にはキャリア形成支援・就職活動支援の各種プログラムを教職員の連携を更に強化して導入していくことが重要となっている。

### 2) キャリアサポートセンター 中長期重点施策について

平成17年度を基点として取組んできた重点施策については以下の通りレビューを行い、平成20年度からの中長期重点施策を設けることとした。

#### ① 学生個人指導方式の導入

キャリア開発シートによる目標設定と計画の実施に関し、キャリア開発シートは就職登録カードと合体して就職希望学生に提出を義務付けると共に就職登録カードを介した個別面談によるキャリア形成・就職支援などの進路指導に活用を図っている。

#### ② 各ゼミと協調し、学生の就職意識高揚と就職対策（ミニ講座等）などを行う

総合政策学部、外国語学部の主に3年生を対象としたゼミ出張講座は年平均1.5回の講座を学生が受講し、社会が求める人材の理解や具体的な就職活動支援につながっている。

#### ③ 学部の就職方向性に対し連携の強化

総合政策学部は民間企業と共に公務員養成支援の強化、外国語学部は職業を意識したコースへの支援強化、保健学部の臨床検査系学生への民間企業就職支援や国家資格による就職先の開拓強化に関し、ミニ講座やガイダンス、企業による学内説明など支援事業を通して拡大、強化に取り組んできた。

#### ④ 就職戦略として、サービス産業、営業職部門をターゲットに加える

企業による学内業界説明会や企業見学の充実により強化を図ってきた。

#### ⑤ インターンシップ制度を重点課題として拡大、充実させる

総合政策学部では定着し派遣学生も増加している。外国語学部の観光コース履修学生は教務経由にて進められ、その他のコースではインターンシップ先の紹介に取組んできた。今後は大学としての一元化により派遣学生の増加を図っていくことが課題である。

平成20年度からの中長期重点施策は上記の施策を充実させていくと共に

1：初年次からの就業意識の醸成に取り組む各種支援事業の充実

2：社会人基礎力を向上させていく為のミニ講座やガイダンスへの取り込み

を強化することにより就職を有利に導き、将来のキャリア形成に役立つ学生支援事業に取り組んでいく。

### 3) 平成20年度、就職内定率

保健学部	95.0%	(前年度95.1%)
総合政策学部	91.6%	(前年度97.6%)
外国語学部	88.0%	(前年度98.5%)

#### [評価分析]

急激な経済環境の悪化により後期からの求人が止まったこと、厳選採用により事務職系の採用数減少によって、結果的に女子学生への影響が多大であった。

また大企業から中小企業への進路切り替えが思わしくなく今後の課題となった。

### 4) 20年度事業取組みと評価及び今後の課題

初年次からのキャリア形成支援に基づく就職意識の醸成を図るため、ゼミ出張講座を1・2年生に拡大した。特に総合政策学部・外国語学部では284名の学生に対して就労に関連する事項のレクチャーを実施した。またジョブカフェ（学内での業界、企業研究）やジョブスタディ（企業見学）においても1・2年生の参加が得られた。

同時に大学における目標づくりの支援として資格取得講座の受講を推奨し特にパソコン講座、旅行業務取扱管理者、ビジネス実務などの講座の受講が高まった。

今年度から女子学生を対象としたセミナーをスタートさせた。女子の就労環境が大きく変化している現代にあって、就労に関する法的環境整備や企業におけるキャリア形成を確立された社会人先輩によるパネルディスカッションでの就労環境の実際と取組み姿勢などにつき指導を賜った。近年、日本における就職希望が増加している留学生に対する、留学生支援事業として就職活動のあり方などの事業も今年度から導入を図った。今後は社会人基礎力の向上を学生自身の成長目標として取組んでもらえるよう各種のイベントに組み込み自己目標の設定と評価につながるよう指導していく。

産学連携による学生支援の強化に関してはジョブカフェ・ジョブスタディを活用した地元企業の事業や職業を学ぶ機会を提供した。また、3年生向けには地元企業人事による面接指導や合同就職説明会への参加を呼びかけ期待通りの援助を授かった。

今後は地元企業との一層の関係強化により理論に留まらないインターンシップなどの現場体験を深めて学生の進路選択支援を強化していく。